

平成 23 年度リーダー研修会  
(ファーストステップ研修講師養成研修会)  
開催要綱

- 1 趣 旨  
介護福祉士の資質の向上が求められる今、「ファーストステップ研修会」を実施する必要性が高まってきております。「ファーストステップ研修会」を広く実施するためには講師の養成が不可欠になり、その基本となる講師の要件としては介護福祉士のリーダーが望ましいと考えられます。  
社団法人日本介護福祉士会は研修体系が確立されるよう介護福祉士の教育水準の向上と後継者育成を担っていくリーダーを養成することを目的とする研修会を開催します。
- 2 主 催 社団法人日本介護福祉士会
- 3 後 援 財団法人社会福祉振興・試験センター
- 4 期 日 【前期】平成 24 年 2 月 3 日(金)～2 月 5 日(日)  
【後期】平成 24 年 3 月 10 日(土)～3 月 11 日(日)
- 5 会 場 東京八重洲ホール 701 会議室(別添案内図参照)  
〒103-0027 東京都中央区日本橋.3-4-13 新第一ビル TEL03-3201-3631
- 6 参加対象 以下の①から③のいずれかを満たし、所属支部より推薦のある会員とする。  
①過去にファーストステップ研修を 1 領域でも受講した経験を持つ者、又は現在受講している者。  
②過去にファーストステップ研修の講師又は助言者として 1 科目以上教授した経験を持つ者。  
③過去に支部または行政の主催する研修会・講習会等において講師を務めた経験を持つ者。
- 7 参加定員 50名
- 8 参加費用 35,000円(資料代、修了証発行代を含む)  
※ 各支部 1 名の前期研修会についてのみ交通費(往復 1 回分、本会の規程による)を支給します。  
※ 急遽生じたやむを得ない事情による場合を除き、遅刻・早退・欠席は認められませんので、予めご了承ください。
- 9 プログラム 別紙参照(ただし、各科目の内容に関する説明はございませんので、事前に「ファーストステップ研修ガイドライン」等をお読みいただいたうえでご参加ください。)
- 10 事前課題 ①別紙様式①を用いて、ファーストステップ研修の 1 科目についてシラバスを作成し、研修会に持参してください。(記入にあたっては記載留意事項を参照すること。)

②「ファーストステップ研修ガイドライン」を読んでいない方は、研修前に必ず読んでいただくようお願いいたします。(お持ちでない方は事務局までご連絡ください。FAX 又はメール又は郵送にて送信致します。)また、研修会にもご持参ください。

- 11 申し込み 申込書に必要事項をご記入の上、各都道府県支部へお申し込み下さい。  
平成 24 年 1 月 20 日(金)必着  
※各都道府県支部は申込書記載内容を確認のうえ、1 月 24 日(火)までに、推薦書及び受講者からの申込者を日本介護福祉士会事務局へ FAX 又はメールにて送信して下さい。(締切を過ぎたお申し込みは受付することができませんのでご注意ください。)  
※受講決定者には、1 月 25 日(水)に当会より受講決定通知を発送させていただきます。
- 12 問合せ先 社団法人日本介護福祉士会 事務局 (担当:金子)  
東京都港区虎ノ門 1-22-13 西勘虎ノ門ビル3階  
TEL:03-3507-0784 FAX:03-3507-8810 MAIL:kaneko@jaccw.or.jp

## 〈研修内容〉(前期)

2月3日(金)		講 師
9時30分～	受付	
10時00分～ 11時00分	オリエンテーション 【講義】 介護福祉士の生涯研修制度における ファーストステップ研修の位置付け等について	社団法人 日本介護福祉士会 副会長 内田 千恵子
11時10分～ 12時10分	【講義】 ファーストステップ研修における各領域の 指導ポイントについて (※各科目の内容を詳細に説明するものではありません)	
12時10分～ 13時10分	昼食・休憩	
13時10分～ 17時00分	【講義・演習】 成人教育とは ファーストステップ研修受講生の理解	十文字学園女子大学 非常勤講師 丸山 晃 氏

2月4日(土)		講 師
9時30分	開場	
10時00分～ 12時00分	【講義・演習】 受講生の理解を促す講義法とは	十文字学園女子大学 非常勤講師 丸山 晃 氏
12時00分～ 13時00分	昼食・休憩	
13時00分～ 17時00分	【講義・演習】 受講生の理解を促す講義法とは	

2月5日(日)		講 師
8時30分	開場	
9時00分～ 12時00分	【講義・演習】 ファーストステップ研修シラバス・レジュメの作 成について (事前課題で作成したシラバス評価を含む)	十文字学園女子大学 非常勤講師 丸山 晃 氏
12時00分～ 13時00分	昼食・休憩	
13時00分～ 16時30分	【演習】 模擬講義へ向けたレジュメ作成	

※各科目では、適宜10分程度の休憩がございます。  
※プログラムは変更することがあります。あらかじめご了承下さい。

## 〈研修内容〉(後期)

3月10日(土)		講 師
9時30分～	受付	
10時00分～ 12時00分	【講義・演習】 ファーストステップ研修講師としての 教授法を学ぶ	神奈川県庁保健福祉局 地域保健福祉部 生活援護課 グループリーダー 菊池 健志 氏
12時00分～ 13時00分	昼食・休憩	
13時00分～ 17時00分	【講義・演習】 ファーストステップ研修講師としての 教授法を学ぶ	

3月11日(日)		講 師
8時30分	開場	
9時00分～ 12時00分	【講義・演習】 模擬講義及び評価・講評	神奈川県庁保健福祉局 地域保健福祉部 生活援護課 グループリーダー 菊池 健志 氏
12時00分～ 13時00分	昼食・休憩	
13時00分～ 16時00分	【講義・演習】 模擬講義及び評価・講評	

※各科目では、適宜10分程度の休憩がございます。  
※プログラムは変更することがあります。あらかじめご了承下さい。

平成 23 年度リーダー研修会（ファーストステップ研修講師養成研修）  
受 講 申 込 書

申込日 月 日

ふりがな			会員番号			
氏名			男 ・ 女	年 月 日生		
連絡先(受講通知送付先)	自宅 ・ 勤務先		TEL			
住所〒			FAX			
携帯			Eメール (携帯不可)			
勤務先名称						
職種			役職			
昼食希望 1食 1,000円 (希望する日に○をお 付け下さい)	2/3	2/4	2/5	3/10	3/11	
ファーストステップ 研修について	1. 受講したことがある、又は現在受講している 2. 講師又は助言者を担当した(科目名: )					
支部または行政 主催研修の教授歴	主催団体名 ( ) 教授科目名 ( )					

(支部記入欄)

支部推薦	上記の者を推薦いたします。 介護福祉士会 会長 印
------	------------------------------

※ 記入漏れのないようご記入下さい。

※ お申し込みは各都道府県介護福祉士会までお願いいたします。

(本研修に関する問い合わせ先)

社団法人日本介護福祉士会事務局 東京都港区虎ノ門 1-22-13 西勘虎ノ門ビル 3階

TEL 03-3507-0784 FAX 03-3507-8810 E-mail [kaneko@jaccw.or.jp](mailto:kaneko@jaccw.or.jp)

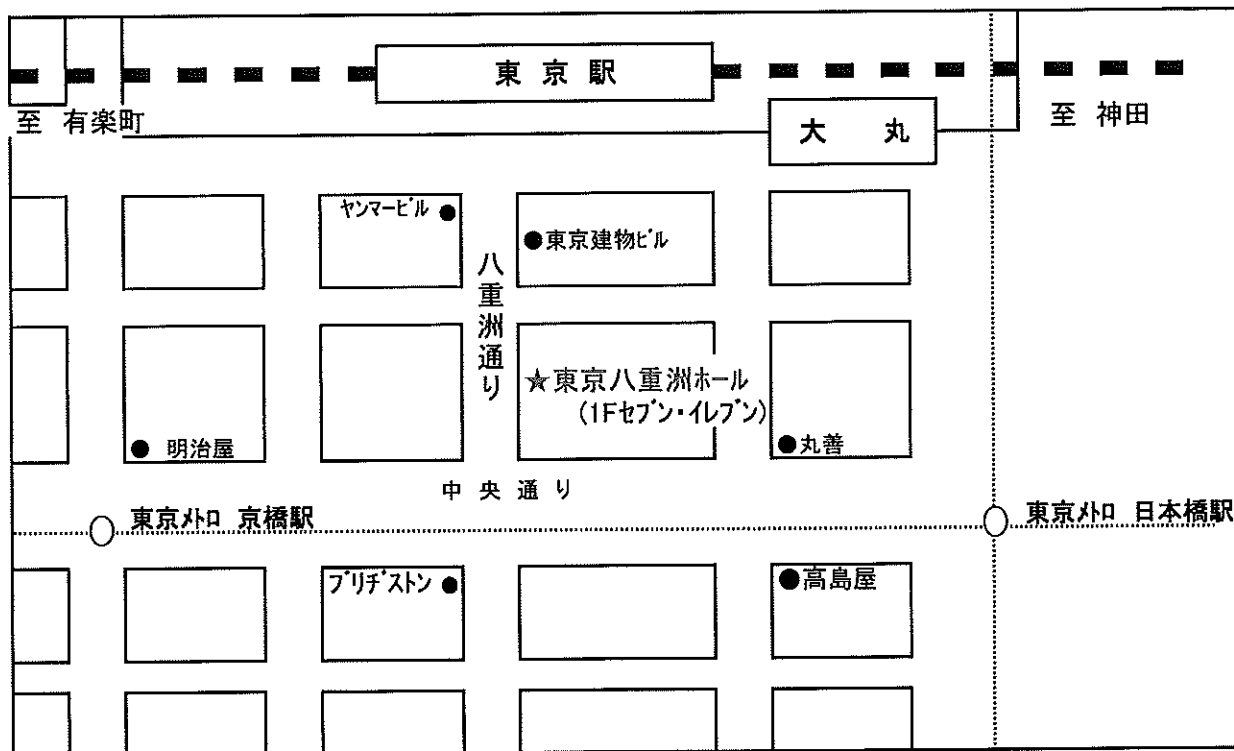
お申し込みは各都道府県介護福祉士会まで

締切：平成 24 年 1 月 20 日

# 東京八重洲ホール案内図

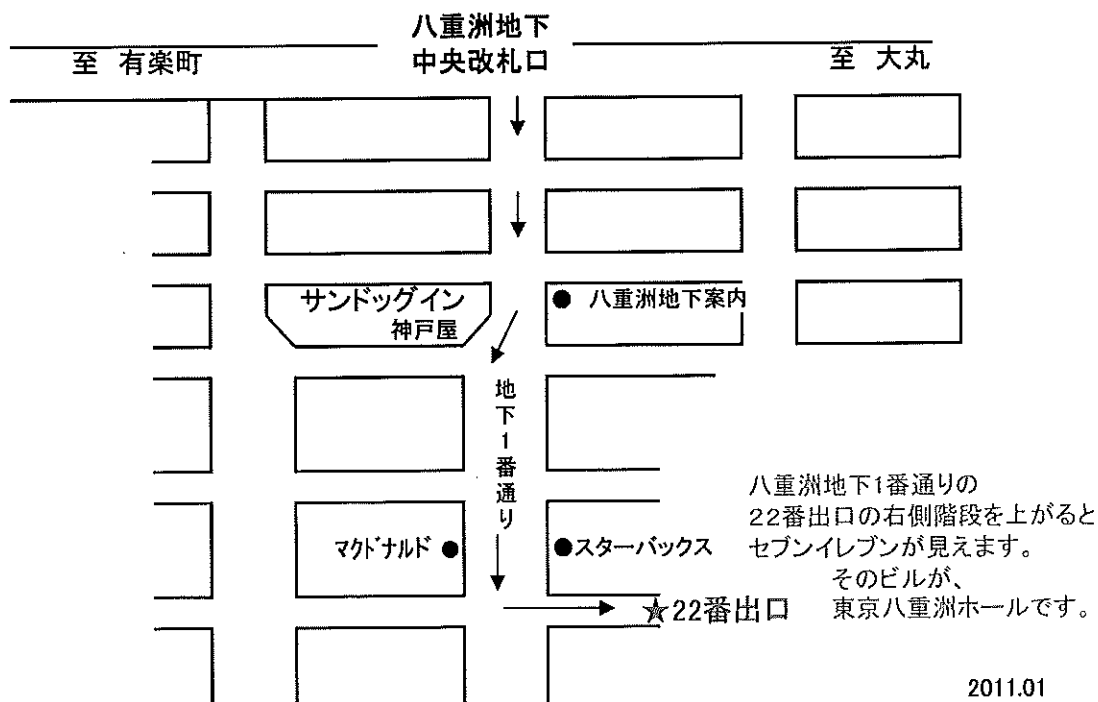
【所在地】 東京都中央区日本橋3丁目4番13番  
TEL 03-3201-3631

【J R】 東京駅八重洲中央口より徒歩約3分  
【東京メトロ】 銀座線日本橋駅・京橋駅より徒歩約3分  
東西線日本橋駅より徒歩約7分



東京駅寄りに「東京建物八重洲ホール」があります。名称が類似しておりますので、お間違えない様ご注意ください。

東京駅からは、八重洲地下街をご利用になると便利です。



科目シラバス様式例

○領域名： \_\_\_\_\_ 科目名： \_\_\_\_\_

1. 到達目標（行動目標）

到達目標（行動目標）

	別冊「ガイドライン」該当番号記入欄

2. 修了時の評価ポイント（評価内容・基準と方法）

3. 具体的な展開計画

①具体的な展開計画

②使用する教材

③事前課題のねらい・内容・方法、評価方法

・講義・演習の展開

時間	テーマ（展開）・大項目	講義・解説のポイント・（中小項目）、演習等の展開内容	使用教材、指導上の留意点、備考等	ガイドライン 該当番号

- ・ 事後課題、レポート等のねらい・内容・方法、評価方法

(別添様式：；記載留意事項)

本様式例を参考に記入してください(受講者に提示することも意図して、要領を作成した者でも可)

科目シラバス様式例

○領域名： \_\_\_\_\_ 科目名： \_\_\_\_\_

様式は例示であり、既存のフォームによって必要事項が記載されていれば様式は問わない(ただしA4であること)

講義・演習の展開の各項目について、別冊「ガイドライン」Ⅲ-3「領域達成目標、評価、展開」における該当番号をご記入ください

1. 到達目標 (行動目標) ※一日ないしは1科目ごとに作成する。時限の区切りにそって具体的な展開案を記載する。

到達目標 (行動目標)

別冊「ガイドライン」該当番号記入欄

ガイドラインの行動目標を踏まえ、さらにブレイクダウンしたり、付け加えたりしてもよい(2～3項目程度)

例) 豊かな人間観と、利用者への全人的、共感的、多面的な理解に立ち、利用者の尊厳が保持された状態の実現に向けた実践の改善にチームで取り組むことができる。

2. 修了時の評価ポイント (評価内容・基準と方法)

受講者の学習効果について、ガイドラインのどの評価ポイントに対応し、それをどのような評価方法で評価するか。ガイドラインの評価ポイントをさらにブレイクダウンしたり、付け加えたりしてもよい(2～3項目程度)。具体的な設問として提示してもよい。

当該科目の具体的な展開計画(概要)を記入してください。

3. 具体的な展開計画

①具体的な展開計画

②使用する教材

③事前課題のねらい・内容・方法、評価方法

4. 講義・演習の展開

下記の記載様式は一例であり、研修の特性にあわせて適宜工夫されてよい

講義・演習の展開の各項目について、別冊「ガイドライン」Ⅲ-3「領域達成目標、評価、展開」における該当番号をご記入ください

時間	テーマ（展開）・大項目	講義・解説のポイント・（中小項目）、演習等の展開内容	使用教材、指導上の留意点、備考等	別冊「ガイドライン」該当番号記入欄
<p>大まかなタイムスケジュールを書く</p>	<p>講義・演習のテーマ・流れを書く 例) 介護におけるコミュニケーションの理解</p>	<p>①講義・解説のポイントとして受講生に理解させるべきこと、②演習の場合はどのような演習を行うかを書く 例) 介護におけるコミュニケーションのポイントとして○○、○○、○○があることを説明する or 理解させる。</p>		

5. 事後課題、レポート等のねらい・内容・方法、評価方法